
会いたい

葵 景子

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
会いたい

【Nコード】
N9155A

【作者名】
葵 景子

【あらすじ】
わたしがいま、あなたにとつきもち。

会いに行くにはどうすれば良いんだろう???

中3の2学期。アパートが壊されることになって転校をした。
前の学校とは違い、何もかもが自由すぎて、なぜか私は悲しかった。
私には何か押さえ付けられないものがないと何も出来なかった。
何かに押さえ付けられた範囲の中で生きていたかった。

転校してもすぐには慣れなかった。何かが違う。前と比較するのは
どうかとは思うが、何かが違った。

そして、つらかった。

ある日、彼からメールがきた。向こうからくるのは1週間ぶりだった。

会いたいけど、距離を感じた。
会いたいと思うほど、距離を感じた。
そして、会いたくてたまらなくて、涙がでていった。

彼に会うとしたら、あと半年後だろう。

会いたいけれど、会えないかもしれない。

会いたいからこそ、会わないのかもしれない。

私の事わ好きなのか、解らない。

解りたいから、会いたい。なのに、彼は。。。。

会うと言う事は、実際に顔を見られる事。

けれど、私たちはもう、ずっと前から顔なんて見たくなかったのか
もしれない。

半年後、会えたのは彼の友達だった。

彼は会いにこなかった。

私が会いに行かなかったのかもしれない。

とにかく、会わなかった。

あんなに甘い恋をしていたのに。。。

私は今、彼を好きか知りません。
彼が私を好きなのかも、知りません。

ただ、私はあなたに会いたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9155a/>

会いたい

2010年10月9日14時17分発行